

授業科目 NO.402 基礎看護技術論Ⅱ (生活援助技術)

Fundamental Nursing Skills II (Daily Care)

授 業 の 形 態 : 演習

単位数 (時間数) : 2 単位 (60 時間)

開講年次・学期 : 1 年次・後期

必修・選択の別 : 必修

キ ー ワ ー ド : 生活援助技術、看護技術の安全・安楽・自立・経済性、
食事、排泄、姿勢と移動、睡眠と休息、衣類の選択と着脱、
体温の維持、皮膚の清潔、安楽確保、安全で快適な病床環境

1 金沢医科大学看護学部への到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学 修 目 標

1) 一般目標 (GIO)

看護の対象となる個人・家族・集団が、最適な健康状態でその人らしい日常生活を営むために必要な援助技術 (生活援助技術) について学び実施できる。看護の目的でもあり、基礎看護技術の中核でもある、安全・安楽・自立の意味と行為を考察するとともに、コミュニケーション力を涵養する。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部への到達目標との関連を示す。

- (1) 人体の構造と機能の知識を活かし、生活 (食事、排泄、姿勢と移動、睡眠と休息、衣類の選択と着脱、体温の維持、皮膚の清潔、安楽確保、安全で快適な病床環境) に対する各援助技術についてエビデンスを述べることができる。 (②)
- (2) 対象に提供する生活援助技術は、安全・安楽・自立・経済性を考慮する必要性があることを述べることができる。 (①②)
- (3) 学生間で、食事 (食事介助)、排泄 (床上排泄介助)、姿勢と移動 (体位変換、ボディメカニクス、車椅子・ストレッチャーでの移動)、睡眠と休息、衣類の選択と着脱 (寝衣交換)、体温の維持 (電法)、皮膚の清潔 (清拭、洗髪、足浴)、安楽確保 (ポジショニング)、安全で快適な病床環境 (スタンダードプリコーション、ベッドメイキング、リネン交換) が実施できる。 (①②)
- (4) モデルを用いて排泄 (おむつ交換)、皮膚の清潔 (陰部洗浄) が実施できる。 (①②)
- (5) 生活援助を受ける対象の気持ちに配慮し、対象への説明と同意や対象の反応に合わせたコミュニケーションの必要性を述べることができる (①②)。

3 学 修 内 容

授業の内容、修得技術については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	40%
実習成績	%
レポート・小テスト	20%
授業態度	%
技術試験	40%
合計	100%

(特記事項)

- ・ レポート（事前・事後課題）は、未提出や記載内容が不足している場合、その回のレポート点を「0」点とする。
- ・ レポート（事前・事後課題）は、すべてのレポート点を合計した得点を全体評価の 20%に換算し評価する。
- ・ 実技試験は、ベッドメイキングの実技試験、足浴の実技試験、生活援助技術の総合実技試験を実施する。実技試験の評価内訳は、ベッドメイキングの実技試験を 5%、足浴の実技試験を 5%、生活援助技術の総合実技試験を 30%とする。
- ・ 定期試験および生活援助技術の総合実技試験については、各評価割合の 6 割に満たない場合は再試験の対象となる。

5 教 育 担 当 者

科目責任者：松井 希代子（基礎看護学）

教 授	松井 希代子（基礎看護学）
准 教 授	宮永 葵子（基礎看護学）
講 師	新井 里美（基礎看護学）
助 教	釜谷 友紀（基礎看護学）
助 教	白藤 友紀（基礎看護学）
非常勤講師	宮崎 彩乃

6 教育担当者の実務経験

担当教員は、全員が看護師としての実務経験を有している。

7 教 科 書

- 1) 茂野香おる他著：系統看護学講座専門分野 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ、第 18 版、医学書院
- 2) 任和子他著：系統看護学講座専門分野 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ、第 18 版、医学書院
- 3) 任和子他著：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術、第 3 版、医学書院

8 推薦参考書

藤本真記子他著：看護が見える vol.1 基礎看護技術、第1版、メディックメディカ
村中陽子編：学ぶ・活かす・共有する看護ケアの根拠と技術、第3版、医歯薬出版株式会社

9 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

講義・演習1コマにつき、事前学修・事後学修として計45分程度必要である。

初回のガイダンス時に説明を加えるが、概要を以下に示す。

- 1) 講義・演習前に、学修内容に関する事前課題がある。それを活用して授業を行うため、必ず事前学習を行って指定日までに提出し、授業に持参する。
- 2) 講義・演習後に、学修内容に関する事後課題がある。レポートし、指定期日までに提出する。
- 3) 指定教科書や電子シラバス等で講義・演習内容範囲を事前に確認し、授業の展開を把握して授業に臨む。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) 提出されたレポートについては、コメントして返却する。
- 2) 看護技術の実技評価の結果は個別指導につなぐ。
- 3) 試験に関しては、希望者に結果の提示、解説をする。

11 履修上の注意事項

- 1) 科目で扱う生活援助技術は、2年生の基礎看護学実習Ⅱで実際に患者へ提供する技術である。そのため、よく聞く、よく見る、よく練習して、よく振り返っていただきたい。演習の場が貴重な体験になることを期待する。
- 2) 講義も含め、グループで活動することが多い科目である。素朴に感じた疑問を口にし、他者の意見に真摯に耳を傾けていただきたい。自分たちの手で、評価を受ける場ではなく、学修する場に変えていくことを期待する。
- 3) 授業内容によりAクラスとBクラスに分かれて行うので、事前にシラバスを確認すること。
- 4) 授業内容により学生間で演習（清拭、洗髪、足浴など）を行う際、準備が必要な物品がある。例として、スパッツ、バスタオル2枚、フェイスタオル2枚、歯ブラシ、手鏡など。開講日近くに再度準備物品の連絡を行うが、事前に準備しておくことが望ましい。

12 オフィスアワー等

質問は随時可。研究室に来てください（事前にメール連絡が望ましい）。メールでの質問も可。

松井：mkiyoko@kanazawa-med.ac.jp

釜谷：kamatani@kanazawa-med.ac.jp

第1学年

基礎看護技術論Ⅱ（Aクラス）

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	10月02日（木）	3	講義 演習	ガイダンス(看護技術とは),生活援助技術とは,感染防止の技術 標準予防策(スタンダードプリコーション) 実技実施,グループワーク		基礎看護学	釜谷助教,松井教授,宮永准教授,新井講師,白藤助教
後	2	10月02日（木）	4	演習	感染防止の技術,標準予防策(スタンダードプリコーション),衛生的手洗い,個人防護用具の着脱 実技実施,グループワーク	レポート	基礎看護学	釜谷助教,松井教授,宮永准教授,新井講師,白藤助教
後	3	10月14日（火）	1	講義 演習	療養生活における快適な環境(環境整備) グループワーク,場面シミュレーション	レポート	基礎看護学	釜谷助教,松井教授,宮永准教授,新井講師,白藤助教
後	4	10月14日（火）	2	演習	自然な姿勢での援助(ボディーメカニクス),環境調整技術(ベッドメイキング,寝具の畳み方・整え) 学生間による実技実施,グループワーク	レポート	基礎看護学	釜谷助教,松井教授,宮永准教授,新井講師,白藤助教
後	5	10月21日（火）	1	演習	快適な姿勢, 体位の整え(体位変換) 学生間による実技実施,グループワーク	レポート	基礎看護学	宮永准教授,松井教授,釜谷助教,新井講師,白藤助教
後	6	10月21日（火）	2	演習	療養環境におけるベッドの構造・機能,基本寝具・体圧分散寝具,体位保持(ポジショニング) 学生間による実技実施,グループワーク	レポート	基礎看護学	宮永准教授,松井教授,釜谷助教,新井講師,白藤助教
後	7	10月23日（木）	3	講義 演習	環境調整技術(リネン交換) 学生間による実技実施,グループワーク	レポート	基礎看護学	宮永准教授,松井教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教
後	8	10月23日（木）	4	演習	環境調整技術(リネン交換) 学生間による実技実施,グループワーク	レポート	基礎看護学	宮永准教授,松井教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教
後	9	10月30日（木）	3	演習	ベッドメイキング技術確認	技術試験	基礎看護学	釜谷助教,松井教授,宮永准教授,新井講師,白藤助教
後	10	10月30日（木）	4	演習	ベッドメイキング技術確認	技術試験	基礎看護学	釜谷助教,松井教授,宮永准教授,新井講師,白藤助教
後	11	11月06日（木）	3	演習	病床での衣生活の援助(寝衣交換) 学生間による実技実施,グループワーク	レポート	基礎看護学	新井講師,釜谷助教,松井教授,宮永准教授,白藤助教
後	12	11月06日（木）	4	講義 演習	排泄援助技術(おむつ交換) 学生間による実技実施,グループワーク	レポート	基礎看護学	釜谷助教,松井教授,宮永准教授,新井講師,白藤助教
後	13	11月07日（金）	2	演習	食事介助 学生間による実技実施,グループワーク	レポート	基礎看護学	宮崎非常勤講師,松井教授,宮永准教授,新井講師,釜谷助教,白藤助教
後	14	11月27日（木）	2	演習	清潔の援助に共通する技術 グループワーク	レポート	基礎看護学	釜谷助教,松井教授,新井講師,白藤助教
後	15	11月27日（木）	3	演習	清潔の援助(足浴とフットケア) 学生間による実技実施,グループワーク	レポート	基礎看護学	釜谷助教,松井教授,新井講師,白藤助教

第1学年

基礎看護技術論Ⅱ（Aクラス）

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	16	12月03日（水）	1	演習	清潔の援助（洗髪） 学生間による実技実施,グループワーク		基礎看護学	白藤助教,松井教授,新井講師,釜谷助教
後	17	12月03日（水）	2	演習	清潔の援助（洗髪） 学生間による実技実施,グループワーク	レポート	基礎看護学	白藤助教,松井教授,新井講師,釜谷助教
後	18	12月10日（水）	1	演習	清潔の援助（陰部洗浄・臀部洗浄） シミュレーターモデルを用いた実技実施,グループワーク	レポート	基礎看護学	釜谷助教,松井教授,新井講師,白藤助教
後	19	12月10日（水）	2	演習	清潔の援助（陰部洗浄・臀部洗浄） シミュレーターモデルを用いた実技実施,グループワーク		基礎看護学	釜谷助教,松井教授,新井講師,白藤助教
後	20	12月16日（火）	3	演習	清潔の援助（全身清拭） 学生間による実技実施,グループワーク	レポート	基礎看護学	釜谷助教,松井教授,宮永准教授,新井講師,白藤助教
後	21	12月16日（火）	4	演習	清潔の援助（全身清拭） 学生間による実技実施,グループワーク		基礎看護学	釜谷助教,松井教授,宮永准教授,新井講師,白藤助教
後	22	12月17日（水）	1	演習	足浴技術確認	技術試験	基礎看護学	釜谷助教,松井教授,宮永准教授,新井講師,白藤助教
後	23	1月08日（木）	3	講義 演習	活動の援助技術（歩行介助,杖歩行,車椅子への移乗） 学生間による実技実施,グループワーク	レポート	基礎看護学	新井講師,松井教授,宮永准教授,釜谷助教,白藤助教
後	24	1月14日（水）	1	演習	車椅子・ストレッチャーへの移乗・移送 学生間による実技実施,グループワーク	レポート	基礎看護学	新井講師,松井教授,釜谷助教,白藤助教
後	25	1月14日（水）	2	演習	車椅子・ストレッチャーへの移乗・移送 実技試験 オリエンテーション 学生間による実技実施,グループワーク		基礎看護学	新井講師,松井教授,釜谷助教,白藤助教
後	26	1月15日（木）	3	講義 演習	清潔の援助（口腔ケア） 学生間による実技実施,グループワーク	レポート	基礎看護学	釜谷助教,松井教授,宮永准教授,新井講師,白藤助教
後	27	1月21日（水）	1	演習	移乗・移送技術の応用（患側のある患者の介助） 学生間による実技実施,グループワーク,プレゼンテーション	レポート	基礎看護学	釜谷助教,松井教授,宮永准教授,新井講師,白藤助教
後	28	1月21日（水）	2	演習	生活援助技術の応用 シミュレーターモデル・学生間による実技実施,グループワーク	レポート	基礎看護学	釜谷助教,松井教授,宮永准教授,新井講師,白藤助教
後	29	1月28日（水）	1	演習	既習技術の統合		基礎看護学	釜谷助教,松井教授,宮永准教授,新井講師,白藤助教
後	30	1月28日（水）	2	演習	既習技術の統合 実技試験オリエンテーション		基礎看護学	釜谷助教,松井教授,宮永准教授,新井講師,白藤助教